

第10分科会 生涯活躍・健康

テーマ

“私らしく生きる”ために、あなたは？地域は？

副題

～私らしく生きる人生設計の可能性～

私らしく仕事をしながら、いつ子供を産んでどこでどのように子育てをするのか、そしてキャリアをどう継続し自分らしさを磨いていくのかを考えることが、充実した人生をおくる最初の一步

誰もが“私らしく自信と誇りを持って生きる”ことができるように、生殖医療や子育て、政治分野に精通しているパネリストとともに議論

第1部

生殖医療や子育てを巡る現状や課題について議論

第2部

女性の政治参加について議論



第10分科会：生涯活躍・健康

課題

取り組み
方針

未来の目
指す姿

【分科会の開催に向けて】

- 計8回のオンラインミーティングを実施
- 若者を中心にアンケートを実施（265件回答）

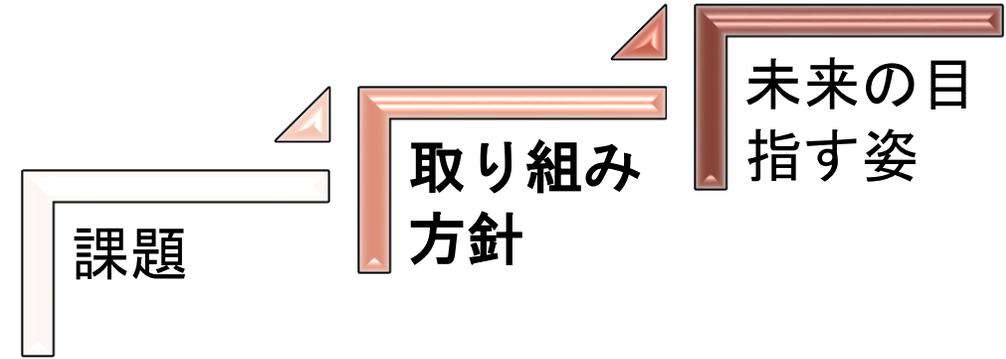
結果分析⇒ ディスカッションの視点を決定

第1部：妊娠・出産の適齢期は知っているがその時期より遅くなってしまう傾向にあるため、どのように準備をしておくべきか

第2部：多様性を実現させるために政治分野への女性の参画をどう進める

- 女性の体（卵巣等）には寿命があるということへの認知
- アウェイ育児世帯が持つ不安
- 子育てはキャリアの負担では無いということの周知不足
- 日本の政治の多様性が他国と比べて低い
- 若い人たちがどう声を上げていくべきか不明
- 選挙での1票の意味の理解不足

取組み方針



- 「今」を不満なく将来の目標に向かって楽しむため、人生計画を早いうちにする。
- 全ての女性が持つ権利を尊重し、どんな選択をしても受け入れられる地域社会を確立する。
- 正しい情報や選択肢を教育や報道・SNSを通じて限りなく多く提示し、自分の人生を自分の意志で計画できるように支援をする。

未来の目指す姿



課題

取り組み
方針

未来の目
指す姿

- 結婚・出産・子育てが女性活躍の重荷になるのではなく、人生を豊かにする動機付けに繋がることできる
- 女性の体の変化を多くの人理解できる社会
- 家族を超えて地域の人連携して子育て参加をサポートできる社会、若者が主体的に行動できる社会の実現
- 困ったときに「助けて」いえる、またその声に寄り添える場が作られること
- 社会を変えることのできるチェンジメーカーがあふれる未来